

RELEASE



2016年8月1日(月曜日)

吉田香織選手と TEAM R×L 所属契約を締結しました。

2016年8月よりR×L【アールエル】が吉田選手の走りを支えます。



武田レッグウェア株式会社(代表取締役社長 武田進)は、R×L【アールエル】ブランドにて、第1回さいたま国際マラソン総合2位(日本人TOP)の吉田香織選手と2016年8月1日よりTEAM R×L所属の複数年契約を締結しました。

吉田香織選手は昨年開催された、第1回さいたま国際マラソンで自己ベストを更新(2時間28分43秒)し総合2位(日本人TOP)となる成績を残しました。現役のランナーとして活動しつつ市民ランナーとの交流を大事にする吉田香織選手の周りは笑顔が溢れ、私達R×Lの目的である「スポーツ好きの人の笑顔を増やす」と方向性が一致する選手です。

武田レッグウェアは、世界各国で特許を取得しているR×Lのソックスをはじめアクセサリやウェアなど「完成なきモノづくり」の理念の元、実際に使用され改良が加えられていく商品で吉田香織選手の走りをサポートし、さらに吉田香織選手を通じてR×Lをより多くの方に体験して頂く機会を増やしたいと思います。そして今後吉田香織選手の活動をTEAM R×Lとして全面的にサポートしてまいります。

最後に、吉田香織選手との所属契約を通じスポーツ好きの人を増やし、さらにスポーツを愛する人を笑顔にしたい、そして吉田香織選手のように「夢を力に」し多くの方に自分の可能性に挑戦してもらいたいと考えます。



夢をかに！
Kaori



吉田香織プロフィール

出身:埼玉県

生年月日:1981年8月4日生まれ

一般社団法人日本アスリートサポート協会理事。

2015さいたま国際マラソンで日本人トップとなり、リオオリンピック代表選考対象となるとともに、川内優輝に並ぶ市民ランナーの星として人気を集めている。ファンを大切しながら、一人でも多くの方にランニングの楽しさを伝えたいと普及活動につとめる。FM富士「ニホンのナカミ」DJを務めるなど、持ち前の明るい性格で多方面で活動中。

【戦歴】埼玉県立川越女子高校時代から、アジアクロスカントリー選手権優勝(ジュニアの部)、世界クロスカントリー選手権14位(ジュニアの部)、国民体育大会1500m準優勝等、頭角を表す。実業団に進み、横浜国際女子駅伝日本代表、全日本実業団10000m3位、日本陸上競技選手権5000m7位等トラックレースや駅伝で活躍。2006北海道マラソンで初フルマラソン初優勝達成。この初フルマラソンをきっかけに、実業団の枠を外れ、市民ランナーとして活動。2008カサブランカマラソン優勝、2008ホノルルマラソン準優勝、2010&2012ゴールドコーストマラソン優勝、2012千葉アクアラインマラソン優勝、と数々のフルマラソン大会で結果を残し続けている。2015年11月15日開催されたリオオリンピック代表選考レースの『第1回さいたま国際マラソン』では、日本人トップ準優勝となり、リオオリンピック代表候補に名乗りをあげた。Wings for life world run2016では女子世界チャンピオンとなり、世界記録を打ち立てた。

【パーソナルベスト】10000m32分01秒 ハーフマラソン1時間10分18秒 フルマラソン2時間28分43秒

【出演履歴】文化放送「関根勤のスポパラ」文化放送「千葉真子のBESTSMILEランニングクラブ」フジテレビ「村上信五とスポーツの神様たち」関西テレビ「闘う大忘年会2015」日本テレビ「NEWS ZERO/ZERO human」他多数

TEAM R×L 所属選手

～平塚潤～

1993年世界陸上シュトゥットガルト大会男子10000m代表。元城西大学駅伝部監督。

44歳、46歳、47歳フルマラソン年代別日本記録保持者

～依千香～

短距離選手としてインターハイなどで活躍。社会人になり2009年から長距離に取り組みフルマラソンで多く優勝経験をもつ最強ママさんランナー。・2015年ハセツネ30優勝・2015年大阪マラソン4位入賞・2015年つくばマラソン優勝

～能勢結希～

・2003～05年、2007～08年100Kmワールドカップ日本代表 ・2008年、2012年チャレンジ富士五湖ウルトラマラソン71km優勝・2014年サロマ湖ウルトラマラソン50km優勝・2015年2016年八ヶ岳野辺山高原ウルトラマラソン71km優勝

R×Lの特許技術



R×Lはソックスの形状に着目し世界で初めて爪先右左立体形状の特許を登録。そして商業ベースの生産ラインをスタートさせました。それらは選手やファンの皆様からのフィードバックから生まれまっています。さらには5本指ソックスの指先が履きにくいとの声から、世界で初めて指の下側の膨らみに合わせて製編した指先立体5本指製法も特許登録。その他、ソックスにこだわることなく選手やファンの方に喜んでもらえる改良は継続して続けられています。

またR×Lは特許を国内のみならず、海外でも取得し海外展開もしています。

●右左立体製法

日本、中国、タイ、インドネシア、香港、台湾、韓国、米国、カナダ、メキシコ、ロシア、イタリア、トルコ、オランダ、フランス、ドイツ、オーストリア、ベルギー、ルクセンブルグ

●指先立体5本指製法

日本、中国、タイ、インドネシア、インド、香港、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、ロシア、オランダ、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、ベルギー、ルクセンブルグ

●踵右左立体製法

日本、ドイツ、フランス、トルコ、オランダ、イタリア、オーストリア、ルクセンブルグ

武田レグウェア株式会社

代表取締役社長 武田進

〒354-0015 埼玉県富士見市東みずほ台1-11-10

049-251-4332

Info2008@bigtoe-takeda.com

www.rxl.jp

窓口：武田大輔